♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

１月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！

「セグロカモメ　カモメ科」
冬鳥。全長 61cm。雌雄同色。最も普通に見られる大型のカモメ。漁港周辺で見ることができる。

「ノスリ　タカ科」
冬鳥。全長 55cm。雌雄ほぼ同色。トビより一回り小さなタカで、脇からお腹周りにある茶色の横線が特徴。

「メジロ　メジロ科」
留鳥。全長 12cm。雌雄ほぼ同色。鮮やかな黄緑色の体と、目の周りの白いアイリングが特徴。

「オオキンカメムシ　キンカメムシ科」
体長 20-25㎜。集団越冬することで知られる南方系の大型カメムシ。大きめの葉の裏を覗いてみよう。

☆「オガタマノキ　モクレン科」☆
日本に自生するモクレン科では唯一の常緑樹。ご神木とされる事が多い。直径 3cm 程の花が咲いている。

☆「クロガネモチ　モチノキ科」☆
花の少ない冬を彩る庭木として人気。常緑だが寒さと乾燥で全ての葉を落とすこともある。

☆「センリョウ　センリョウ科」☆
暖地の林下に生える常緑小低木。葉の上につく果実が美しく、江戸時代初期から園芸用に栽培されている。

☆「アオノクマタケラン　ショウガ科」☆
湿った林下に生える常緑多年草。沖縄に生えるゲットウの仲間。和歌山県絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。

☆「オオイタビ　クワ科」☆
暖地の海岸近くに生える常緑つる性の木本。イチジクの仲間。壁面緑地として植栽している。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪
駒…駒ヶ崎、駐…駐車場で観察することができます。

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
皆さまのお越しを職員一同お待ちしております。　　令和六年　　元旦

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2024 年 1 月前半号
宇久井ビジターセンター

吉野熊野国立公園
宇久井半島

冬版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

○ビジターセンター～地玉の浜コース　（片道約15分）
❶ → ❷ → ❹ → ❺　約700m

○ビジターセンター～駒埼灯台コース　（片道約25分）
❶ → ❷ → ❸　約900m

○ビジターセンター周回コース　（一周約40分）
❶ → ❷ → ❹ → ❻ → ❶　約1200m

○ビジターセンター～千尋の浜コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❽　約1200m

○ビジターセンター～外の取コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❾　約1200m

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ

千尋の浜
（上地の浜）

千尋の浜方面

外の取

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

休暇村
南紀勝浦

至休暇村

ヤブツバキ
ヤマモモ

N
W
E
S

至 R42

マルバウツギ

上野展望台
防空監視哨

ビジターセンター

トベラ

作業ヤード

アキグミ
ヤブツバキ

ツルコウジ

ヒサカキ
モチノキ

オガタマノキ
蛭子神社跡地

ヤマモモ

ヤブコウジ
ヤブツバキ
ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）

セグロカモメ
ウミネコ

自然観察の森

ヒサカキ

ヤブツバキ群生地
足元注意

木のすき間から
海が見えます。

ホルトノキ
シロダモ

カラスザンショウ

シロダモ

沢

周回ルート

松尾展望広場

ヒサカキ
シロダモ

アオノクマタケラン
ウバユリ

竹林
ツルコウジ

赤灯台

クスノキ

スダジイ

ハマオモト
ハマダイコン
ハマゴウ
ハマナタマメ

タイミンタチバナ

地玉（じごく）の浜

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分

ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ

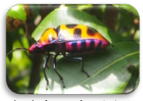
タブノキ

モチノキ

木のすき間から浜が見えます。

モチツツジ

駒埼灯台



オオキンカメムシ

凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段